

小型化を求められるギア精度と 技術力への飽くなき挑戦

有限会社 大同精機



製品を説明する眼差しは柔らかい

要求される小型化

創業43年になる有限会社大同精機は、豊川稲荷で知られる愛知県の豊川市に工場を構える。小ロットの小型ギア、タイミングプーリー、カム、多条ネジを切削加工により仕上げていく。

IT産業の花形であるICの製造工程で高速作動するチップマウンター、眼科で視力を測る際に使われる検眼機器レンズ部分の動きは、大同精機が手掛ける複合的な小型ギアによるものである。同社が製造するギアは、産業機械や自動車のような大物・中物部品ではなく、正確で微小な動きにも対応する精密機械分野などに使われる

小型ギアである。

「大量生産が求められる事務機械部品のほとんどは中国へと移っていったが、知的ロボットなどに利用される小ロット傾向の強い精密な小型ギアの製造は海外へ流出していない」と同社社長の福住氏は言う。

素材は、真鍮・アルミ・鉄・樹脂まで幅広く、依頼される仕事のほとんどがカスタマイズされたギアである。生み出される精密なギアは、小型・軽量化と高い精度を求められ、ついには眼科医療機器などではトップシェアの株式会社ニデックのもとで、人工眼をつくる国家プロジェクトの一端を担うこととなる。

高まる技術力と伝承

福住氏は二代目として大同精機に入社。以前勤めていた大同特殊鋼では7年間、鍛造の金型設計から製造、営業までを経験したことから、現在も社員とともに現場でその力を発揮している。

高まる技術の伝承やニーズに対応するため、人材確保に重点を置いた。そこで「人件費はコストではなく目的である」との教えに共鳴。多くの中小企業が人件費に消極的な動きを見せるなか、「人件費を増やして、良い人材を採用し、技術力を継承していきたい」という逆転の発想である。

後継者問題から事業をいつまで続けられるのか思い悩んだ時期もあったが、若い優れた人材の確保にも成功し、いままさに次世代へと技術が継承されている。

「工作機械のNC化が進んでいるなか、ギアの製造技術はローテクだけれど、モノづくりの底辺を支えている」と福住氏の表情は高い技術への誇りに満ちていた。

編集部／渡部彩子



若い世代へと継承されていく技術

Company Profile

有限会社 大同精機

所在地：愛知県豊川市川花町 1-63

TEL：0533-86-6677 FAX：0533-84-4163

担当者：代表取締役 福住幹生

事業内容：歯切り加工、ねじ切り加工、NC 旋盤加工、MC 加工

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?21338>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「大同精機」で検索できます。

本誌付録の「CD-ROM de バーチャル工場見学」にて、同社の工場技術動画をご紹介します！



同社で扱う小型ギア、タイミングプーリー、カム、多条ネジの製品ラインナップ